

茨中・茨高は先生方の手厚い指導があることが特徴だと思います。まず、授業に関して中1の頃から理科の授業は、他校よりも特徴的な実験が多いです。特に印象に残っているのは「イカの解剖」、「豚の心臓の観察」、「カエルの解剖」など実践を取り入れている実験授業です。そのため、教科書上の学習よりも明らかに理解を深めることができ、他校よりも質の高い授業を受けられると思います。また、中3で高校受験がない分、高校での勉強を先取りできる点が良いところだと思います。高校の授業を中学から先取りすることで、大学受験に向けて早期に基礎を固めることができるところが有利な点だと思います。また、高2からクラスが文理に分かれて、自分の進路にあった質の高い授業を受けられます。高3になると授業を受けるクラスが国立、私立にも分かれるため、先生方は自分たちの大学受験に向けて、質の高い問題を選んで演習の授業を中心に行ってくださったり、私立、国立特有の入試問題の傾向をわかりやすく教えてくださり、授業にも集中して取り組むことができ、目標実現のための手厚い授業が行われています。また、課外活動においては、中学の頃から毎週、そして長期休業も含め課外授業があります。自分が特に成績を伸ばしたい教科を選んで集中して学習に取り組むことができます。中3の頃、私は特に国語を伸ばしたいと考えていたので、課外授業に参加しました。課外授業では、通常授業と同じように小テストや問題演習があるなど、同じような緊張感で取り組むことができました。そして中学の頃から古文単語を覚えることに集中でき、高校進学前に基礎を定着することができました。また、課外授業の後でも先生に相談しやすい空間なので、課外でわからなかったところもためらわずに、先生に質問することができました。そして、茨中・茨高は「医学コース」も設置しています。実際、私は薬剤師、看護師などに興味があったことや、将来の夢がはっきり決まっていなかったので自分の視野を広げるために中3から高2の途中まで、医学コースに所属していました。その中では訪問介護で臨終を見届ける看護師の方の実際の経験や、国境なき医師団の方から紛争地での実際の応急手当の方法など、普段絶対に聞くことのできないような貴重なお話を聞くことができました。また、医学コースに入っていたからこそ、自分には医療系に入るための強いメンタルがないと思い、将来の夢を改めるきっかけにもなりました。茨中・茨高では他校では体験できないような自分の将来の視野を広げるための素晴らしい環境が整っていると強く実感します。

私は、中高6年間バスケットボール部に所属していました。部活動を通して、私はリーダーシップ、そして忍耐力を身につけることができました。また、部活動のメンバーとは放課後ほぼ一緒に過ごすので、部活動以外でも仲が良く、今思えば、部活動なしの学校生活が考えられないくらい充実した時間でした。1点差で負ける悔しい試合を経験したり、公式戦で勝てたときはみんなで泣きながら喜んだり、部活動に所属していたからこそ味わえた経験がたくさんで、まさに青春でした。この6年間の部活動で過ごした時間は一番の思い出になりました。また文化祭では、バスケット部のみんなで実行委員を務めました。実行委員では文化祭の最初を盛り上げるオープニングセレモニー、閉会式、そして学校の装飾などを行いました。期限までに式典をどのように盛り上げるか、そして先生たちにいろいろな許可をもらい、自分たちで考えたサプライズを成功させたときはやりがいを感じました。高3の最後の文化祭を部活動のみんなで協力して成功させられたことは高校生活で一番の思い出です。

私が考える茨中・茨高の良いところは、とにかく環境が素晴らしい点です。まず、先生方は生徒一人ひとりに真剣に向き合ってくれます。定期試験前に自分で解けない問題を質問しにいった際は、私ができるまで何度も何度も紙に書いて1対1で教えてくださいました。また、高3で勉強の方法がわからなく迷っていた際は、夏休み期間にもかかわらず先生は1時間ほど個別で志望校にあった勉強法

を提案してくださり、自分の落ち込んでた勉強へのモチベーションがあがり、勉強へのやる気ができました。また、自習室も完備されているので、私は高3の受験期には毎朝自習室に通うことを習慣づけていました。そして、とにかく茨中・茨高は興味のあることに全力で取り組める環境が整っています。医学コース、国際教養コース、そして希望者への夏休みの英語プログラム、西表島などでの自然体験、アメリカへの短期留学、そして職業教育講演会など自分の将来を切り開くための素晴らしい環境が整っているのが魅力だと思います。

大学進学後は、司法試験に合格するための学習に励みたいと考えています。その後、大学で十分な法律の知識を身につけ、日本人だけでなく在日外国人、そして国をまたいで様々な人の助けになることができる、国際的に活躍できる弁護士になりたいです。